

桐野利秋 とりのり 陸軍軍人。天保九年十一月薩摩國生れ、明治十年九

月二十四日歿（八三—七七）。初名中村半次郎、信作。劍道・示現流公達

し、文久二年上洛して尊攘志士と交わり、人斬り半次郎の名で知られ

た。戊辰戦では會津征討軍軍監として戦功。翌年鹿児島常備隊大隊長、

のち陸軍少將、熊本鎮臺司令長官、陸軍裁判所所長歴任と、明治六年

西郷隆盛に従ひ辭職。西南役には鹿児島軍總指揮長。城山で戦死。

著書「今體英雄文抄・第壹集」(合著・樺崎隆存編、明治十年十月大

阪・赤志忠雅堂)、口傳上「愛國史徵聖寶」(全二冊)(合著・塩田友親編、明

治二十九年十月七日入屋書房)、遺稿「愛國の至情」(中川九郎筆

記、昭和九年二月十一日朝日書房)等。

